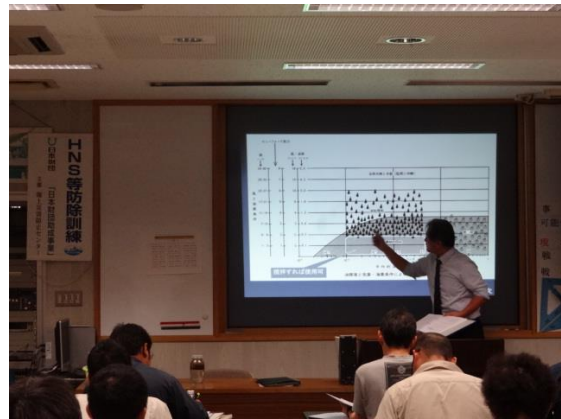


HNS 等防除訓練を実施

(一財)海上災害防止センター(以下「センター」という。)では、原油・重油といった特定油、ガソリン・灯油といった特定油以外の油、ベンゼン・キシレンなどの有害液体物質(HNS ※Hazardous Noxious Substances)の流出や火災事故が発生した際、防災措置活動を迅速かつ確に実施し得る人材を育成すべく、本年も日本財団より助成をいただき、HNS 等防除訓練を5月18日から22日までの5日間にわたり、当センター横須賀訓練所にて実施いたしました。



(訓練受講生30名)



(座学講習)

本訓練は、HNS 等の流出・火災現場において、高度な防災措置活動を行う人材の育成を目的としています。よって、横須賀訓練所での座学だけでなく、洋上での油回収装置の操作及びオイルフェンス展張訓練の他、近年事故現場において需要が高まっているサンプリング装置等・採泥器の取扱い訓練等を実施しております。また東京湾に所在する第二海堡に建設された訓練施設にて、可燃性・有毒ガス検知器取扱い訓練、化学防護服や呼吸具を装着しての HNS 等防除模擬訓練など、実動を主とした訓練を行っています。



(オイルフェンス展張訓練)



(採泥器取扱い訓練)



(自蔵式空気呼吸具取扱い訓練)



(化学防護服装着訓練)



(HNS 等防除模擬訓練Ⅰ)



(HNS 等防除模擬訓練Ⅱ)

また、護岸や船体に付着した油に対して、処理剤による洗浄の他、新しく開発した油剥離剤の実験を行い、これら薬剤の違いについての講習も実施した



(油処理剤と剥離剤の実験Ⅰ)



(油処理剤と剥離剤の実験Ⅱ)

訓練に参加した訓練生からは、「普段当たり前のように行っていた作業の危険性を知り、今後の作業に関わって行く上で安全意識が変わるきっかけになりました。」「自社の業務に関わる訓練だったので一つ一つがとても勉強になりました。」「資機材の取り扱いや油の特性などこの訓練を生かしてさらに勉強していきたい。」等の感想をいただきました。

当センターでは、今後も HNS 等防除訓練内容の充実を図り、海上防災体制の充実強化に寄与したいと考えております。